

◆ 2010 年度 日本木材学会中部支部大会（金沢）の実施概要

石川県林業試験場 小倉光貴

2010 年 10 月 28 日（木）～29 日（金）に 2010 年度日本木材学会中部支部大会が金沢市広坂の石川県立生涯学習センターを主会場として開催されました。

1 日目は午後 1 時から研究発表（口頭発表 2 会場、19 件）が、午後 4 時から展示発表（17 件）が行われました。当日の参加者は 57 名で、内訳は大学教員 16 名、学生・院生 18 名、公設試等 16 名、独立行政法人 4 名、民間企業 3 名でした。

午後 6 時から会場を市内大手町の KKR 金沢に移して懇親会が催され、日本木材学会本部から服部会長のご参加を頂き、総勢 38 名の参加で和やかなひとときを過ごしました。

2 日目は朝、評議員会が開催され、支部の事業および予算に関する報告や計画が承認され、学会本部から出席頂いた服部会長より、法人化後の対応や代議員選挙について説明を頂きました。

続いて、金沢市歴史建造物整備課の石浦裕治氏を講師に招いて、「金沢市における歴史的な町並み保存・景観保全への取組」と題して特別講演が催され、歴史的町並みを文化遺産と観光資源の両面から活かすための行政、技術的見地からの施策について紹介があり、講演終了後も熱心な質疑が行われました。

その後、バスで郊外の古民家展示施設「金沢湯涌江戸村」へ移動し、民家移築と保存の状況について見学し、午後 1 時に金沢駅で解散しました。

なお、来年度の支部大会は静岡大学において開催されます。